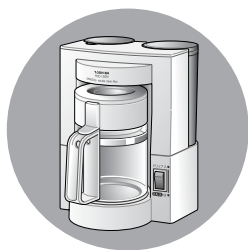
TOSHIBA

東芝コーヒーメーカー 家庭用

取扱説明書

形　名

HCD-L50M

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝コーヒーメーカーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害、財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁 止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指 示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注 意

△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止

改造はしない
また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

使用禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁 止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの原因になります。

コンセントを単独で使う

定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

雨ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

交流100Vのコンセントを単独で使う

電源は交流100V専用コンセントを使用する
火災・感電の原因になります。

⚠警告

禁 止

容器（ボトル）なしで使わない
やけどをすることがあります。

接触禁止

蒸気口や浄水フィルターに触ったり、顔などを近付けない
やけどの原因になります。

根元まで差し込む

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発火の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

無理な扱い禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしない
火災・感電の原因になります。

禁 止

保護スイッチ（蓋スイッチ）を指などで絶対に押さない
けがの原因になります。

⚠注意

プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けがや火傷、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

禁 止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない
火災の原因になります。

接触禁止

ミルケースに手を入れない
内部の刃でけがをすることがあります。

接触禁止

使用中や使用後しばらくは保温板、浄水フィルターなどに触れない
やけどの原因になります。

接触禁止

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

（つづく）

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

冷えてから行う

お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの原因になります。

禁 止

抽出中にガラス容器（ボトル）を外さない
やけどの原因になります。

禁 止

ボトルをのせたまま本体を動かさない
やけどやけがの原因になります。

電源プラグを抜く

部品の取り付け、取りはずし、お手入れするときは、スイッチを切り電源プラグを抜く
けがをする原因になります。

接触禁止

カッターは鋭利なので、直接手を触れない
けがをする原因になります。

お願い

タンク内に熱湯を入れないでください。
故障・変形の原因になります。

保温板の上にコードをのせないでください。
コードが破損し、火災、感電の原因になります。

抽出直後、すぐにタンクに水を入れないでください。
ヒーターが熱くなっているため、湯口から熱湯や蒸気が出て、やけどをすることがあります。

ボトルを直接、火にかけたり、電子レンジで加熱したり、傷つけたり、硬いものにぶつけないでください。
破損する原因になります。
割れや欠けが発生したら、すぐに交換してください。

ミルの連続使用・カラびき・カラだきをしないでください。
故障の原因になります。

タンクの中に水以外のものを入れないでください。（湯・牛乳・アルカリイオン水・コーヒー粉など）
故障の原因になります。

ミルケースでコーヒー豆以外はひかないでください。
故障の原因になります。

各部のなまえとはたらき

ボトル目盛
（ホット、マグカップ、アイス）

ミルケース

ミルボタン
ミルふた
カッター
取りはずしはできません。

ミルケースのはずしかた

⚠注意

接触禁止

ミルケースに手を入れない
内部の刃でけがをすることがあります。

ミルケースを持って、上に持ち上げる。
取り付けるときはミルスイッチ部にミルボタンを合わせてセットする。

付属品

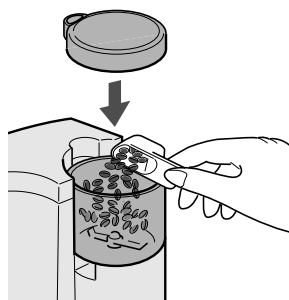
紙フィルター5枚

計量スプーン1個
（すり切り約8ｇ）

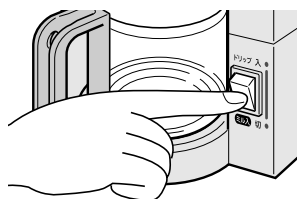
正しい使いかた

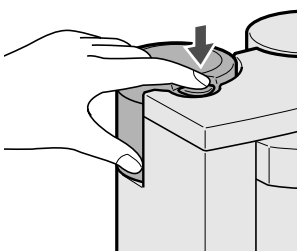
コーヒー豆をひく

1 ミルケースにコーヒー豆を入れ、ミルふたをする

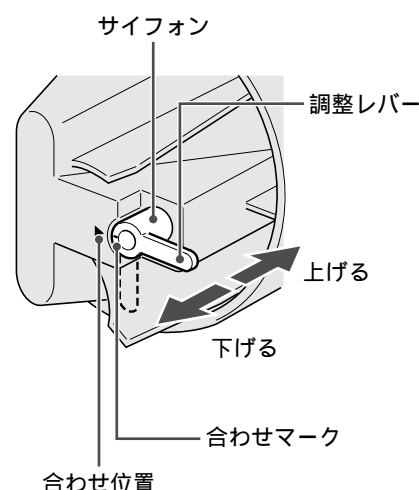
●計量スプーンすりきり5杯をこえるコーヒー豆を入れないでください。ミル用モーターが故障する原因になります。
●ミルふたはしっかりしめてください。ミルふたがあいていると、豆が飛び散ります。

コーヒー豆の量（計量スプーンすり切り）	2杯（約16g）	3杯（約24g）	4杯（約32g）	5杯（約40g）
でき上がりカップ数	2カップ	3カップ	4カップ	5カップ

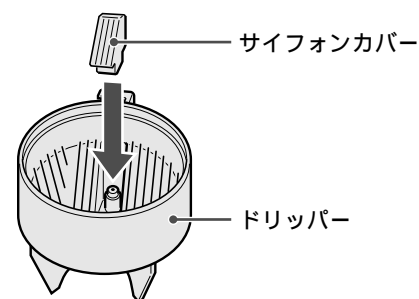
2 スイッチを「ミル入 切」にして、電源プラグを差し込む

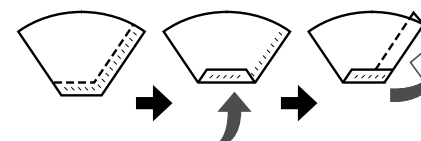
●スイッチが「ドリップ・入」になっているとヒーターが通電され、保温板が熱くなります。

3 ミルふたを手で押さえ、ミルボタンを約10秒間押して豆をひく

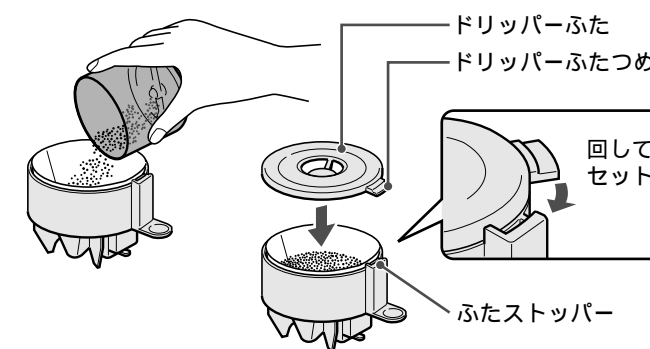
●「約10秒」は中びきのめやすです。ミル時間は、豆の種類やお好みにより加減してください。
●スイッチが「ドリップ・入」になっていると、ミルボタンを押しても、コーヒー豆はひけません。
●ミルボタンを押し終わってしばらくは、中のカッターが回っていますので、完全に止まってから、ミルふたをあけます。
●20秒以上ひかないでください。微粒が多くなり、紙フィルターが目づまりして、コーヒーがあふれることがあります。

ドリッパーを準備する

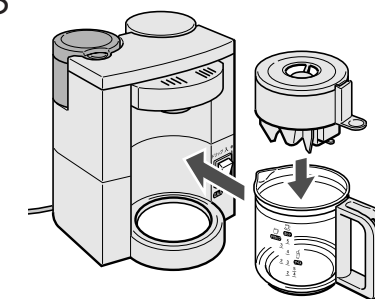
1 サイフォン高さを調節する

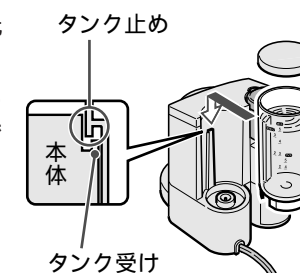
●サイフォン高さは高・低の二段階に調節できます。お好みによりセットしてください。
●ドリッパーの合わせ位置に調整レバーの合わせマークを合わせて上・下に移動し調整レバーを横に向けて固定します。
●調整レバーを上げたときは、コーヒーのむらし時間が長くなります。下げたときは、むらし時間が短くなります。

2 ドリッパーにサイフォンカバーをセットする

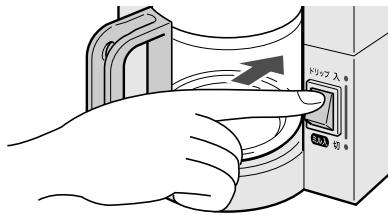
●サイフォンカバーをドリッパーにしっかりセットしなかったり、サイフォンカバーなしで使うとむらしドリップができません。
●サイフォンカバーは紛失しないようにしてください。

3 ドリッパーに紙フィルターをセットする

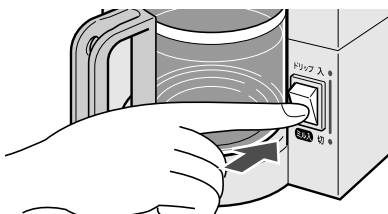
●紙フィルターの端を図のようにミシン目にそって折り、ドリッパーに合うようにはめ込みます。
●紙フィルターを購入するときは、市販の1×2、102または4カップ用をお求めください。

ドリッパー・タンクをセットする

1 紙フィルターをセットしたドリッパーに、ひいた粉を入れドリッパーふたをセットする

●ふたストッパーにドリッパーふたつめを、矢印①の方向に回してセットします。
※市販のコーヒー粉を使うときは、紙フィルター用中びき粉を使ってください。コーヒー粉の使用量は、6ページのコーヒー豆の標準使用量と同じです。

2 ドリッパーをボトルにセットし保温板にのせる

3 水タンクに水を入れ、本体にセットしタンクふたをかぶせる

●タンク受けとタンク止めは図のようにセットし、根元までしっかりと入れます。
●入れられる水の量は最大5カップ分（ホット）までです。

コーヒーを抽出する

1 スイッチを「ドリップ 入」にする

●約40秒～60秒で浄水フィルターから湯が出はじめます。
●通電中は、水のつぎ足しをしないでください。
●途中で抽出を中止するときは、スイッチを「ミル入 切」にしてください。

2 抽出が終わったらスイッチを「ミル入 切」にして、コーヒーを注ぐ

●強い噴出が数回あったあと1分後ぐらいででき上がりです。
●ボトルからドリッパーをはずして注いでください。

続けてコーヒーを作るとき

本体がさめるまで（約5分間）待ち、「正しい使いかた」の手順に従って作ります

●ドリップ後、すぐに水を入れるとヒーターが熱くなっているため浄水フィルターから蒸気が噴出することがあります。

アイスコーヒーを作るとき

準 備
- アイスコーヒー用粉
- 氷
- シロップ　お好みにより
- 生クリーム

1 アイスバスケットの最大氷量位置まで氷を入れボトルの内側へセットし、「正しい使いかた」の手順でアイスコーヒーを作る

●タンクの水量は「アイス」にあわせます。

2 ドリップが終わったらボトルを保温板から取り出し、アイスバスケットをボトルから取り出す

●アイスバスケットはホットコーヒーのときには使用しないでください。

3 氷を入れたグラスへゆっくり注ぐ

●おいしいアイスコーヒーを作るコツはできたてのコーヒーを急速に冷やすことです。

保温を続けるとき

スイッチを「ドリップ 入」のままにします

コーヒー粉の標準使用量とでき上がり時間

●コーヒー粉は、紙フィルター用中びき粉を使います。

ホットのとき

カップ数	コーヒー粉の量（計量スプーンすり切り）	でき上がり時間（室温、水温約20℃）
2カップ	2杯（約16g）	約5分
3カップ	3杯（約24g）	約7分
4カップ	4杯（約32g）	約9分
5カップ	5杯（約40g）	約11分

マグカップのとき

カップ数	コーヒー粉の量（計量スプーンすり切り）	でき上がり時間（室温、水温約20℃）
2カップ	3杯（約24g）	約7分
3カップ	4.5杯（約36g）	約10分

アイスのとき

カップ数	コーヒー粉の量（計量スプーンすり切り）	でき上がり時間（室温、水温約20℃）
4カップ	4杯（約32g）	約5分
5カップ	5杯（約40g）	約6分

※アイスコーヒーは4カップから作れます。

部品について

お買い上げの販売店でお買い求めください

浄水フィルター（消耗部品）

1日1回のご使用で約2年が目安です。浄水効果が少なくなりましたら交換してください。

色記号	部品コード
K	32319862

ボトル（ボトルとってはついていません）

破損した場合お求めください。

部品コード	32319781

ボトルとって

色記号	部品コード
K	32319861

※色記号は「安全上の注意ラベル」の製造年表示の下に表示（表示例：○○○○ K）してあります。
（○○○○：製造記号　K：色記号）

仕様

電源	交流100V　50-60Hz 共用		
外形寸法	幅22.2cm×奥行21.1cm×高さ26.8cm		
質量	約2.1Kg		
ドリップ 消費電力	505W	ミル 消費電力	100W
ドリップ 定格容量	5カップ　700ml	ミル 容量	40g（5人分）
ドリップ 温度ヒューズ	109℃、117℃	ミル 定格時間	30秒

お手入れのしかた

⚠警告

雨ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

⚠注意

冷えてから行う

お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの原因になります。

お願い
- ●みがき粉やたわし、ベンジン・アルコール・シンナー、化学ぞうきん、住宅用・住宅家具用合成洗剤、カビ取り用洗剤などは使わないでください。故障や変形の原因になります。
- ●ボトル以外は湯で洗わないでください。変形の原因になります。
- ●食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。変形や割れの原因になります。

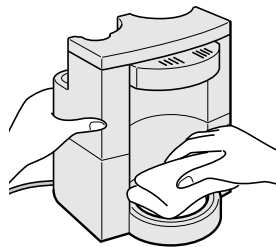
本　体

- ●台所用中性洗剤に浸した布を固くしぼってふき、洗剤が残らないようにふき取ります。
- ●保管するときは、抽出が終わったあと2～3分空のまま通電し、本体内部を乾かします。

タンク・タンクふた・ドリッパー ドリッパーふた・ボトル・アイスバスケット・サイフォンカバー

- ●台所用中性洗剤を入れた水、またはぬるま湯に浸したスポンジで洗い、洗剤分が残らないようによくすすぎます。
- ●サイフォンカバー、ドリッパーふたは取りはずして洗ってください。

ミルケース・ミルふた

⚠注意

接触禁止

ミルケースに手を入れない
内部の刃でけがをすることがあります。

- ●乾いたふきんでコーヒー粉をふき取ります。

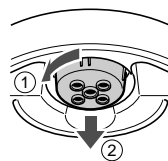
浄水フィルター

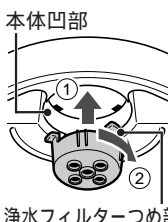
- ●月に1回程度、水ですすいでください。
水質により、水あかや汚れが付くことがあります。

浄水フィルター・サイフォンカバーの取りはずし、取り付けかた

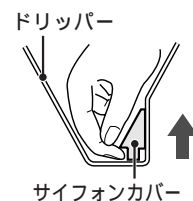
浄水フィルター

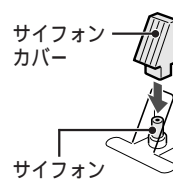
取りはずしかた

- ●浄水フィルターを矢印①の方向へ回し、②下へはずします。

取り付けかた

- ●本体を支え浄水フィルターのつめ部を本体凹部に入れ矢印①の方向へ押しながら矢印②の方向へ回します。

サイフォンカバー

取りはずしかた

- ●指先で上方へずらしながらはずします。

取り付けかた

- ●サイフォンカバーをドリッパーのサイフォンにセットします。
- ●矢印の方向へ**奥までしっかり**とセットしてください。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店に修理のご相談ができない場合
東芝家電修理ご相談センター
フリーダイヤル **0120-1048-41**
携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）**044-543-0220**
西日本地区（　上記以外　）**06-6440-4411**

電話で 24時間 365日 お応えします

お買い物・お取り扱いのご相談
東芝家電ご相談センター
フリーダイヤル **0120-1048-86**
携帯電話・PHSからのご利用は　**03-3426-1048**
FAX　**03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）**

- •「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- •お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- •利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- ●保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- ●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- ●**保証期間はお買い上げの日から本体は1年間です。**ただし、消耗部品は保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- ●コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。
- ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- ●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- ●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

- ●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、スイッチを「切」にして、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）

長年ご使用のコーヒーメーカーの点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。

- ●本体が異常に熱い。
- ●電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ●コゲくさいにおいがする。
- ●スイッチのランプが点灯中、電源コードを動かすと電源が入らないことがある。
- ●その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを「ミル入 切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険です。絶対に分解しないでください。

東芝コーヒーメーカー保証書

持込修理

<table>
<tr><td colspan="3">形名</td><td colspan="2">HCD-L50M</td></tr>
<tr><td rowspan="3">★お客様</td><td>お名前</td><td colspan="3">ふりがな
様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="3">〒□□□-□□□□</td></tr>
<tr><td>電話</td><td colspan="3">市外　市内　番号　呼</td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td>本体</td><td>1年</td><td colspan="2">★お買い上げ日
年　月　日から</td></tr>
<tr><td>★ご販売店</td><td colspan="4">住所・店名

電話</td></tr>
</table>

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社 家電事業部　クッキングハウスホールドクリエーション部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）　電話（03）3257-6163

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。
修理の際には本書をご提示ください。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
   （ト）ご使用による容器の汚れ。
   （チ）消耗部品の交換。
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターへご相談ください。

修理メモ　修理年月日	修　理　内　容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）